

2020年 3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年 10月 31日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東証マザーズ
 コード番号 2497 URL <http://united.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)早川 与規
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)福島 隆寛 (TEL) 03(6821)0000
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,305	△40.1	2,628	△78.5	2,578	△78.9	1,273	△84.2
2019年3月期第2四半期	18,858	173.3	12,219	—	12,206	—	8,080	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △5,948 百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 35,039 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	56.33	56.33
2019年3月期第2四半期	351.06	349.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,347	32,241	73.9
2019年3月期	57,230	40,100	69.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 32,039 百万円 2019年3月期 39,867 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	24.00	—	37.00	61.00
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期における配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】(P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」)に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 1 社 (社名) コイネージ(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	23,671,845株	2019年3月期	23,671,845株
2020年3月期2Q	1,323,045株	2019年3月期	622,995株
2020年3月期2Q	22,599,159株	2019年3月期2Q	23,017,322株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月1日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策により、企業収益や雇用環境の改善を中心に緩やかな回復基調が続いているものの、大国間の貿易摩擦や地政学リスク等世界経済を取り巻く環境の影響により、依然先行きが不透明な状態にあります。

当社グループが主に事業展開を行うスマートフォン関連市場においては、2019年4月の内閣府の報告によりますと、2019年3月末の国内スマートフォン世帯普及率は前年度比3.2ポイント増の78.4%と増加を継続しております(*1)。

こうした環境のもと、当社グループにおきましては、スマートフォン関連領域に特化した「アドテクノロジー(*2)事業」「ゲーム事業」及び「コンテンツ事業」を中心に事業を展開してまいりました。その中で、中期経営計画「UNITED2.0」の「集中期」にあたる当第2四半期連結累計期間においては、事業の成長性を見極めつつ新規事業やプロダクトへの投資を継続しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、前第1四半期連結会計期間における投資先上場に伴う株式売却益計上の反動により、売上高は11,305,205千円(前年同期比40.1%減)となり、営業利益は2,628,080千円(前年同期比78.5%減)、経常利益は2,578,694千円(前年同期比78.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,273,085千円(前年同期比84.2%減)となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間における投資先上場に伴う株式売却益計上による影響額は、売上高12,892,500千円、営業利益及び経常利益12,641,040千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,770,353千円であります。

(*1) 内閣府『平成31年3月実施調査結果：消費動向調査』（2019年4月）

(*2) アドテクノロジー：インターネット広告における広告配信等の技術やシステムを指す。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、以下のとおりであります。

① アドテクノロジー事業

アドテクノロジー事業は、アプリ広告領域において、アプリ特化広告配信プラットフォーム『ADeals』、動画広告配信プラットフォーム『VidSpot』を提供し、ウェブ広告領域において、SSP『adstir』、DSP『Bypass』、アドネットワーク『HaiNa』を提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、アプリ広告領域における売上高が増加したこと、及びウェブ広告領域を中心とした収益性改善施策に引き続き取り組んだこと等により、売上高は3,177,094千円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は214,797千円(前年同期はセグメント損失32,358千円)と増収増益となりました。

② ゲーム事業

ゲーム事業は、スマートフォン向けアプリにて提供するゲームからの課金収入を事業の柱として、『クラッシュフィーバー』及び『CocoPPa Play』に加え、当連結会計年度中のリリースを目指した新規タイトル等の開発を進めております。また、前第3四半期連結会計期間より、ゲームアプリの企画及び開発を行う(株)トライフォートを連結子会社化しております。

当第2四半期連結累計期間は、前述の(株)トライフォートの連結子会社化の影響、前連結会計年度にリリースした『東京コンセプト』の不振、及び新規タイトルの開発投資が増加したこと等により、売上高は1,196,044千円(前年同期比49.6%増)、セグメント損失は622,533千円(前年同期はセグメント利益78,996千円)と増収減益となりました。

なお、『東京コンセプト』は収益改善の見込が立たないことから、2019年9月30日付で第三者へ事業譲渡を行いました。

③ コンテンツ事業

コンテンツ事業は、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、キラメックス(株)及びフォッグ(株)については、主力事業のさらなる成長と周辺領域への展開に注力し、(株)Smarprise及び(株)ア

ラン・プロダクツについてはビジネスモデル転換や新規事業開発に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、キラメックス㈱が好調であること、並びに前第3四半期連結会計期間より新サービスを開始した㈱Smarpriseの貢献により、売上高は2,767,015千円(前年同期比35.3%増)と増加したものの、新規事業への先行投資が継続しているためセグメント損失は329,955千円(前年同期はセグメント利益1,564千円)と増収減益となりました。

④ インベストメント事業

インベストメント事業は、主にシード/アーリーステージを中心としたベンチャー企業への投資を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、投資先の営業投資有価証券を売却したこと等の影響により、売上高は4,204,205千円(前年同期比67.8%減)、セグメント利益は3,878,186千円(前年同期比69.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ13,882,401千円減少し、43,347,711千円となりました。これは主に、法人税等の納付及び自己株式の取得の影響により現金及び預金が2,096,614千円減少したこと並びに投資先株式の売却及び時価評価の影響により営業投資有価証券が10,337,548千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ6,023,611千円減少し、11,105,825千円となりました。これは主に、法人税等の納付の影響により未払法人税等が3,272,108千円減少したこと並びに投資先株式の売却及び時価評価の影響により繰延税金負債が2,654,352千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ7,858,789千円減少し、32,241,885千円となりました。これは主に、投資先株式の売却及び時価評価の影響によりその他有価証券評価差額金が7,208,621千円減少したこと及び自己株式取得により自己株式が992,237千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、6,725,806千円となり、前連結会計年度末に比べ2,096,614千円減少しました。当第2四半期連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は44,817千円(前年同期は11,554,746千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上2,395,134千円、法人税等の支払額3,711,621千円、前期に売却した投資先株式の売却代金入金額746,304千円及び非資金費用であるのれん償却額の計上527,520千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は377,342千円(前年同期は381,987千円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出309,292千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1,760,490千円(前年同期は572,195千円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出992,237千円及び配当金の支払額849,714千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期においては、中期経営計画達成に向け、各セグメントにおける成長性の高い事業へ投資を継続して行っており、当期の上半期中に各事業の成長性を見極めを行う計画としておりました。

その中で、成長性・収益性の高い事業を選別し、集中的に経営資源を投下していくとともに、下半期以降は不採算事業について抜本的な対策を実施してまいります。

引き続き、売上高についてはインベストメント事業を除き前期比増収、営業利益については50億円以上を目標としておりますが、成長事業の不確定要素が多いことに加え、不採算事業への対策による影響額の算定が困難であるため、2020年3月期の連結業績予想につきましては非開示とさせていただきます。

なお、業績見通しを合理的に予測することが可能となった段階で、速やかに業績予想を開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,822,421	6,725,806
売掛金	1,781,226	1,881,006
営業投資有価証券	39,190,609	28,853,061
たな卸資産	70,644	119,663
その他	1,344,506	490,710
貸倒引当金	△5,383	△5,530
流動資産合計	51,204,024	38,064,717
固定資産		
有形固定資産	544,967	500,649
無形固定資産		
のれん	4,125,545	3,598,024
その他	432,269	330,961
無形固定資産合計	4,557,814	3,928,986
投資その他の資産	923,305	853,357
固定資産合計	6,026,088	5,282,993
資産合計	57,230,112	43,347,711
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,414,107	1,321,284
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	187,468	177,468
1年内償還予定の社債	-	50,000
未払法人税等	3,946,314	674,205
ポイント引当金	30,251	23,483
その他	917,577	774,855
流動負債合計	6,595,718	3,121,297
固定負債		
長期借入金	334,758	239,919
社債	-	200,000
繰延税金負債	10,198,960	7,544,608
固定負債合計	10,533,718	7,984,527
負債合計	17,129,436	11,105,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	2,385,813	2,343,346
利益剰余金	10,954,274	11,374,553
自己株式	△892,077	△1,884,315
株主資本合計	15,371,029	14,756,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,501,737	17,293,115
為替換算調整勘定	△5,216	△10,685
その他の包括利益累計額合計	24,496,520	17,282,430
新株予約権	180,165	202,852
非支配株主持分	52,959	-
純資産合計	40,100,675	32,241,885
負債純資産合計	57,230,112	43,347,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	18,858,411	11,305,205
売上原価	4,531,568	6,071,101
売上総利益	14,326,842	5,234,104
販売費及び一般管理費	2,106,903	2,606,024
営業利益	12,219,938	2,628,080
営業外収益		
受取利息及び配当金	162	206
その他	3,770	5,589
営業外収益合計	3,932	5,795
営業外費用		
支払利息	798	2,638
持分法による投資損失	3,167	25,564
為替差損	2,236	12,632
その他	10,905	14,346
営業外費用合計	17,107	55,181
経常利益	12,206,764	2,578,694
特別利益		
新株予約権戻入益	7,768	-
関係会社清算益	42,194	-
事業譲渡益	-	10,000
特別利益合計	49,963	10,000
特別損失		
固定資産除却損	55,000	10,544
減損損失	-	99,166
投資有価証券評価損	174,463	19,655
オフィス再編費用	142,908	-
事務所移転費用	-	7,067
支払負担金	-	48,284
その他	1,757	8,840
特別損失合計	374,129	193,559
税金等調整前四半期純利益	11,882,597	2,395,134
法人税、住民税及び事業税	3,898,900	628,943
法人税等調整額	△42,178	500,648
法人税等合計	3,856,721	1,129,591
四半期純利益	8,025,875	1,265,542
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,613	△7,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,080,489	1,273,085

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	8,025,875	1,265,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,038,810	△7,208,621
為替換算調整勘定	△25,281	△5,468
その他の包括利益合計	27,013,529	△7,214,090
四半期包括利益	35,039,404	△5,948,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,081,197	△5,941,005
非支配株主に係る四半期包括利益	△41,792	△7,542

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,882,597	2,395,134
減価償却費	72,333	115,375
のれん償却額	144,032	527,520
株式報酬費用	34,865	17,850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	275	147
ポイント引当金の増減額(△は減少)	564	△6,767
受取利息及び受取配当金	△162	△206
支払利息	798	2,638
持分法による投資損益(△は益)	3,167	25,564
投資有価証券評価損益(△は益)	174,463	19,655
減損損失	-	99,166
固定資産除却損	55,000	10,544
売上債権の増減額(△は増加)	△155,296	△99,779
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△559,915	△42,478
未収入金の増減額(△は増加)	△5,942	707,081
仕入債務の増減額(△は減少)	132,418	49,403
その他	176,609	△61,483
小計	11,955,809	3,759,368
利息及び配当金の受取額	162	206
利息の支払額	△798	△3,136
法人税等の支払額	△400,427	△3,711,621
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,554,746	44,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,539	△25,235
無形固定資産の取得による支出	△163,314	△74,519
投資有価証券の取得による支出	△21,671	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△56,973	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△309,292
その他	△104,488	31,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△381,987	△377,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,100	△104,839
社債の発行による収入	-	250,000
新株予約権の行使による収入	45,368	-
自己株式の取得による支出	-	△992,237
配当金の支払額	△45,407	△849,714
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△570,055	△63,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572,195	△1,760,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,667	△3,599
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,610,231	△2,096,614
現金及び現金同等物の期首残高	5,576,508	8,822,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,186,739	6,725,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づいて自己株式の取得を行い、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が992,237千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が1,884,315千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドテクノ ロジー事業	ゲーム事業	コンテンツ 事業	インバスト メント事業				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,998,301	796,304	2,019,092	13,044,712	—	18,858,411	—	18,858,411
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,152	3,217	25,369	—	—	31,739	△31,739	—
計	3,001,454	799,521	2,044,462	13,044,712	—	18,890,151	△31,739	18,858,411
セグメント利益 又は損失(△)	△32,358	78,996	1,564	12,905,609	△127,169	12,826,642	△606,703	12,219,938

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△606,703千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	アドテクノ ロジー事業	ゲーム事業	コンテンツ 事業	インバスト メント事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	3,151,962	1,195,834	2,753,203	4,204,205	11,305,205	—	11,305,205
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,131	210	13,812	—	39,154	△39,154	—
計	3,177,094	1,196,044	2,767,015	4,204,205	11,344,360	△39,154	11,305,205
セグメント利益 又は損失(△)	214,797	△622,533	△329,955	3,878,186	3,140,495	△512,415	2,628,080

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△512,415千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。
 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては99,166千円であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「インバストメント事業」において、第2四半期連結累計期間に行った投資先株式の売却及び時価評価の影響により、セグメント資産が10,947,203千円減少しております。